

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

内房線と地
域を守る会

ワンマン運転問題考える会開催

地域の怒りと共に職場から反対の声を!



<質疑応答での主な意見>

- 運転士1人になったら乗客の安全はどうなるのか
- 他の地域でワンマン運転に対する意見はどうか
- JR内の労働組合は何をやっているのか

※その他、ワンマン運転拡大・導入への疑問や反対の声が相次いだ

JR千葉支社は動労千葉との団体交渉で「木更津～上総一ノ宮間を通して運行」「E-3系4両でのワンマン運転を行うことがある」と回答しています。会社はコロナ禍に乗じて中編成ワンマン運転実施と木更津～上総一ノ宮間の切り離し・切り捨ての道を開こうとしています。鉄道の安全を破壊し、車掌を削減して運転士にすべての責任を負わせ、地域の過疎化に拍車をかけるワンマン拡大に対し、地域と共に職場から反対の声をあげよう。

館山市で9月13日、「内房線と地域を守る会」主催の「内房線のワンマン運転問題を考えよう」みんなで知ろう運転士の仕事・車掌の仕事」が開催されました。会場では久留里線のワンマン運転を担当している運転士、木更津運輸区の元車掌が業務内容を説明しました。また、東北本線の黒磯～新白河間の5両ワンマン運転の現地調査について、運転士が確認するモニターには限界があること、障がい者が利用する際の問題点などが報告されました。今後も学習会を開催して地域からワンマン問題に声をあげること、JRや国土交通省に要請行動を行うことが確認されました。

地域ないがしろにするJRに怒り

地域住民にとってワンマン化や列車削減は切実な問題です。この間、「内房線と地域を守る会」や「外房線と地域を守る会」は1万筆を超える署名提出などを行っています。しかしJR東日本は来年3月から内房・外房・鹿島線へのワンマン運転拡大を行おうというのに、いまだに地元へ説明も行っていません。地域住民をかえりみず、一方的に列車削減やワンマン化を進めるJRに対し、怒りの声があがっています。

千葉支社「4両ワンマン実施」